ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	No.1(左岸)			調査位置						北　緯	36 ° 46 ' 20.0000 "
発注機関	栃木県矢板土木事務所					調査期間	2010-08-09 ～ 2010-08-11			東　経	139 ° 55 ' 06.0000 "
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	99.86 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.02 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					盛土 (Bs)	褐灰			礫混じり粘土 φ20～40mm程度の角礫、岩砕混じる 全体に固結し締まっている		
1	98.81	1.05	1.05		泥岩 (Ms)	暗灰			[2.00]上部弱風化 コアは棒状～柱状を主体とする ほぼ水平な層理面が確認できる [4.00]4.2～4.4m間に斜め亀裂あり [5.00]5.85～6.0m間はやや細礫状に破砕している 6.0～6.4m間は亀裂多い [6.50]7.9m付近に斜め亀裂あり 岩の絶対的硬さは軟質であるが状態は比較的良好である		
2											
3											08/09
4											
5											
6											
7											
8	91.84	6.97	8.02								08/10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	22	28 / 8		50 / 18	>50
1.33					
2.00	50 / 2			50 / 2	>50
2.02					
3.00	50 / 1			50 / 1	>50
3.01					
4.00	50 / 2			50 / 2	>50
4.02					
5.00	50 / 1			50 / 1	>50
5.01					
6.00	50 / 2			50 / 2	>50
6.02					
7.00	50 / 1			50 / 1	>50
7.01					
8.02	50 / 2			50 / 2	>50
8.04					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験